

港の町 散策絵図

北前船の寄港地 古い家並みが残る 万葉集の編者 大伴家持が愛した 絶景の景勝地

伏木 吉久 二上山 雨晴



おとものやかもち 大伴家持(718年ころ~785年)

今からおよそ1260年前、当時越中の国府は高岡市伏木の高台、今の勝興寺あたりにあったといわれています。そこに新たな国守(今の県知事)として遠く奈良の都からやってきたのが、後に日本最古の和歌集「万葉集」の編者といわれる29歳の若き大伴家持です。

大海原や白く輝く立山連峰など、越中の新鮮な自然に魅了された家持は、この地で独創的な境地を開き、滞在した5年の間に223首の歌を詠み、それが万葉集に収められています。

高岡市では、施設名やイベントに、さらに、路面電車、町名、学校名など、「万葉」と名のつくものが随所にあります。万葉集の歌を詠んだ歌碑も多くあり、その数は100基を越えます。

とやまけんたかおかし 富山県高岡市(人口約17万人)

古くから越中の政治、文化、経済の中心地として栄えた高岡は、万葉集の編者とされる大伴家持が、かつて越中国守として高岡に住み、数々の秀歌を残した万葉ゆかりの地です。

高岡城が築かれて以来400年の歴史が息づく高岡には、国宝や重要文化財、情緒ある町並みなど、格調の高い歴史的遺産が数多く残されています。

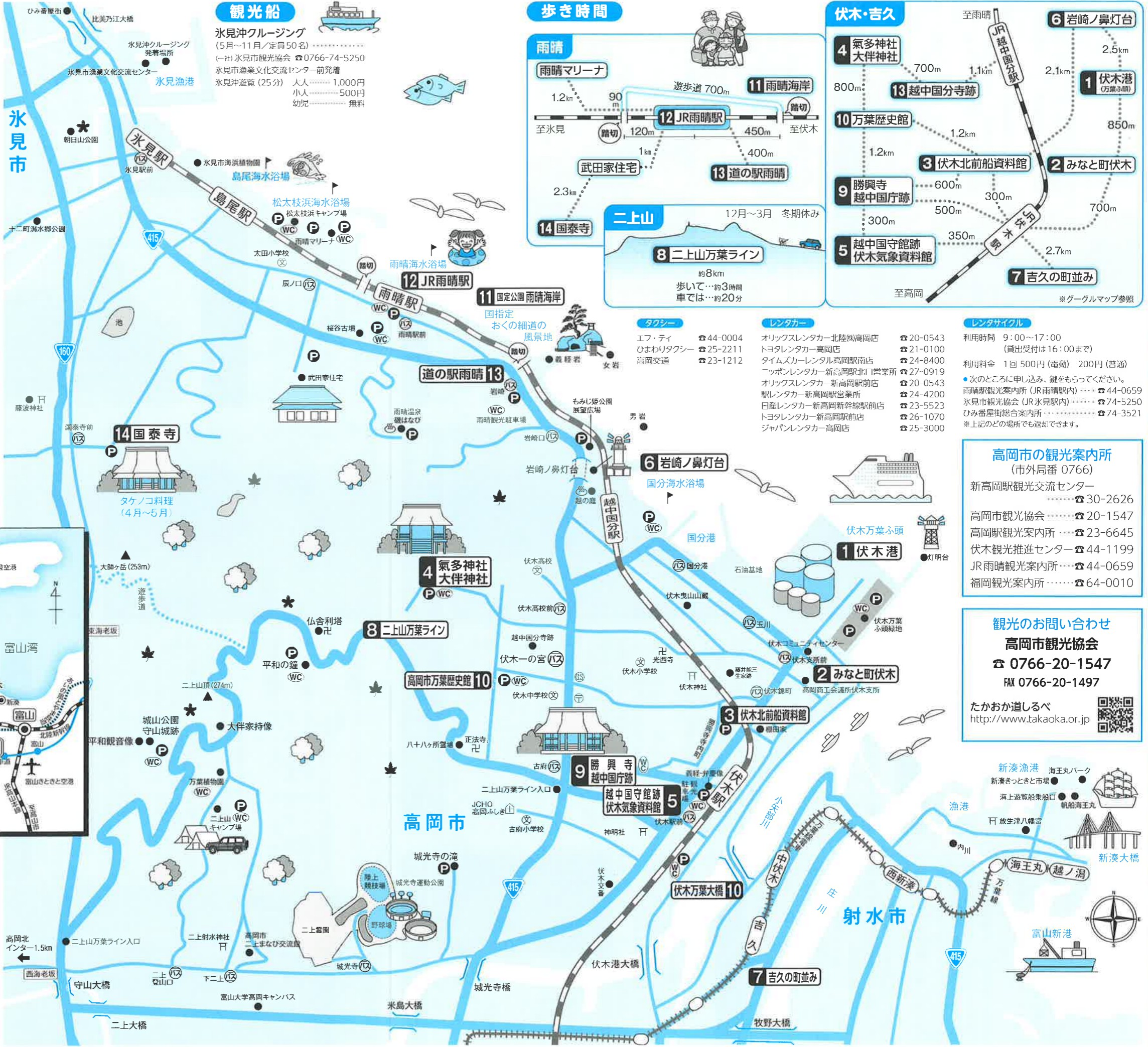
海越しに雄大な立山連峰を間近に望むという素晴らしい景観は、高岡が世界に誇る絶景です。

【日本遺産認定の地】

平成29年4月、文化庁から日本遺産の認定を受けた物語「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間(北前船寄港地・船主集落)」に、伏木エリアの旧秋元家住宅(高岡市伏木北前船資料館)や吉久の町並みをはじめとする9つの文化財が追加認定されました。

伏木には江戸から大正にかけて最盛期には大小30軒ほどの廻船問屋があり、北前船の寄港地として栄えました。越中各地から集められた米の他、鋳物、鉄製品を各地に運び、加賀藩の商業発展に大いに寄与しました。

また、幕末の頃の伏木港は年間2,000隻を超える多国船で賑わい、港の周辺にはその後多くの企業が立地しました。現在は、13万トン級の客船が寄港する日本海側でも最大級の国際貿易港となった原動力は、北前船によるところが大きいのです。



伏木・吉久・二上山 の見どころ

1 伏木港 (国際拠点港湾)

古くから要港として栄えた伏木港は、江戸時代には北前船で賑わい、その後国際貿易港として発展しました。近年は国内外の貨物船に加えて、大型豪華客船が停泊するなど、港は一段と華やかです。

万葉ふ頭にて復元された日本海側最初の西洋式灯台、灯明台が港に映えます。

2 みなと町伏木

みなと町伏木では、北前船で賑わった往時の繁栄が示す、町家や洋風建築を見ることが出来ます。

高岡商工会議所伏木支所の建物は、百年近く前に建てられた土蔵造りの洋風の元銀行であり、国の登録有形文化財となっています。

3 伏木北前船資料館

伏木の高台に建つ北前船資料館は、江戸時代から回船問屋を営んできた旧秋元家の邸宅です。

大きな家の部屋数は十六室。土蔵は江戸時代後期に建てられたものです。館内には、北前船の航海用具や船主の生活用品、歴史資料などが展示されており、港への船の出入りを見張った望楼に登って見学することも出来ます。



4 気多神社 (高岡市指定文化財)

越中一宮気多神社は、平安時代の延喜式神名帳に名を連ねる古社で越中国唯一の女神大社とする資料もあります。本殿は四百五十年前の再建といわれ、室町時代の建築様式の特徴がよく残された風格ある建物です。

境内に、万葉の歌人大伴家持を顕彰した大伴神社が建っています。



5 越中国守館跡 高岡市伏木気象資料館

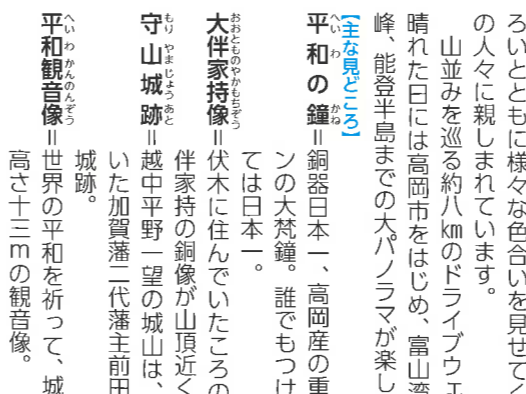
勝興寺の門前近く現在気象資料館が建っている台地は、かつては越中国守大伴家持が住んでいた館(官舎)があったところといわれています。

今から百二十五年前、伏木に日本初の私立測候所が設立されました。現在の建物は、百年前に移築された貴重な洋風木造建築、旧伏木測候所です。

6 岩崎ノ鼻灯台

岩崎ノ鼻灯台は、高岡市唯一の灯台です。海上面67m、基礎上12mの白色円筒鉄筋コンクリート造りで富山湾を航行する船舶の道しるべとして昭和26年5月に点灯し、現在は海上保安庁伏木出張所からの遠隔操作によって稼働しています。

平成29年、「恋する灯台」に認定され好天の日には白い灯台と富山湾と空の青色のコントラストが美しく映えます。



7 吉久の町並み

今から三百五十年前程前、吉久に加賀藩直営の米蔵がつくられました。当時砺波・射水平野は加賀藩最大の米どころであり、年貢米は庄川と小矢部川の水運と馬によって米蔵に運び込まれました。一旦米蔵に集積された米は、近くの伏木港から江戸や大阪に送られ、吉久は高岡とともに重要な米の集散地として大いに栄えました。

明治に入り米蔵は廃止されましたが、米の流通に精通した吉久は、そのあとも経済力を持った米商人の町として栄えました。

その吉久には、江戸時代末から昭和初期にかけて建てられた家が多数残っています。四〇棟余りの千本格子の町並みは、繁栄した当時の面影を今に伝える貴重な文化遺産です。

8 二上山万葉ライン

越中の国守としてはるる奈良の都からやってきた大伴家持は、奈良の二上山と同じ名の山が国庁のすぐ近くにあるのに感激し、二上山を特別の思いをもって歌に詠んでいます。

その二上山(標高二七四m)は、季節のうつろいとともに様々な色合いを見せてくれ、多くの人々に親しまれています。

山並みを巡る約八kmのドライブウェイからは、晴れた日には高岡市をはじめ、富山湾、立山連峰、能登半島までの大パノラマが楽しめます。



9 勝興寺・越中国庁跡

伏木の高台に巨大な寺院が悠然と建っています。地方都市としては破格の規模と格式を備えた、浄土真宗本願寺派の勝興寺です。

真宗の布教寺院として起源をもつ勝興寺は、幾多の遍歴を経て現在の伏木に築かれたのは、今から四百二十一年程前の戦国時代末期のことです。

戦国の頃、勝興寺は一向一揆の拠点として、近世は加賀藩主前田家、本願寺、公家とも密接なつながりを持つ北陸を代表する有力寺院となり、その地位を不動のものとしてきました。

寺はその広大な敷地や門構えからよく城のようだとわれまいます。それは神保氏の古府城を譲り受けて建てられたためであり、境内に残る堀や土塁、



10 雨晴の見えるところ

豪壮な門構えなどは、城郭寺院としての往時の威勢をしのばせます。

先に七年がかりで改修された本堂に続き、現在築四百年近くという大広間などの工事が十年がかりで行われています。

勝興寺の境内は、かつて奈良時代に越中を統治していた国庁のあったところとされており、大伴家持が国守として滞在した五年の間に、多くの優れた歌を残したとされています。

境内には、家持がここで詠んだ長歌の一節「海ゆかば」など、三つの歌碑が建っています。また「勝興寺の七不思議」は、興味いっぱいの見どころです。

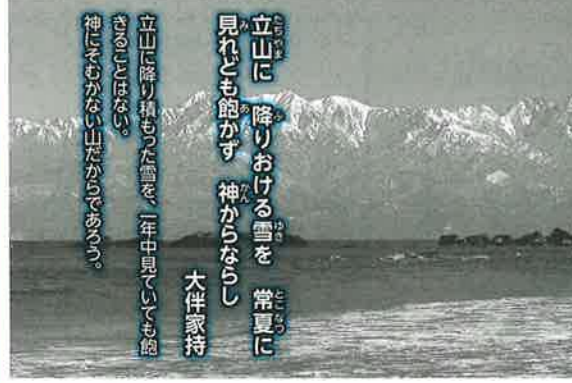
10 高岡市万葉歴史館

高岡は奈良、飛鳥と並ぶ万葉の故地です。それは、万葉集の代表的歌人として知られる大伴家持が、かつて越中国守として伏木の地に五年間在任し、多くの優れた歌を残したことに由来します。

その家持が政務を執っていた国庁跡にほど近い高台に、全国初の万葉集に関する専門施設、万葉歴史館が建っています。

歴史館では「万葉集」や「越中」と大伴家持とのつながりを映像や音響で表現するなど、初心者にも分かりやすく紹介しています。

【歴史館】 ☎0766-44-5511
【観覧料】 大人 有料、中学生以下無料
【休館日】 年末年始・毎週火曜日



世界で最も美しい湾クラブ加盟!!

立山に降りおける雪を、常夏に見れども飽かず 神からならし 大伴家持

立山に降りおける雪を、常夏に見れども飽かず 神からならし 大伴家持

立山に降りおける雪を、常夏に見れども飽かず 神からならし 大伴家持

11 国定公園 雨晴海岸

雨晴海岸は、波が洗う奇岩と白砂青松が続く景勝の地です。とりわけ、冬晴れの日に見られる、海上にそそり立つ立山連峰の雄大な眺めは、比類のない絶景として讃えられています。

海越しに三千m級の白山々を間近に望むという素晴らしい景観は、世界でもこの海岸だけのものです。

雨晴という名前の由来は、かつて義経主従が奥州に落ち延びる途中にこの海岸でにわか雨に会い、弁慶が持ち上げた岩陰で雨宿りをしたという「義経雨はらしの岩」の伝説からきています。

雨晴海岸は、万葉の歌人・大伴家持が訪れるたびに絶賛したところであり、その時の情景を詠んだ歌の数々が、万葉集に収められています。

古来から例えようのない絶景と讃えられ、また、悲劇的な義経伝説が今に伝わる話題の多い雨晴海岸です。

12 JR雨晴駅

ローカル色いっぱいの雨晴駅は、駅名が雨が晴れて明るく好転するという縁起の良い駅として人気があり、遠来の観光客が多数訪れています。

現在氷見線には、氷見市生まれで高岡育ちの漫画家、藤子不二雄(あ)さんの絵がいっぱいに描かれた、「忍者ハットリくん列車」が走っており、休日には家族連れで賑わっています。

【JR雨晴駅】 ☎0766-44-0659
【貸用自転車】 JR雨晴駅に常備

13 道の駅 雨晴

雨晴海岸の目の前にある道の駅「雨晴」では、地元産の食材を使ったメニューを提供するカフェ、地域の特産品や高岡のクラフト商品の販売に加え、1階には高岡市観光情報の紹介コーナー、2階展望デッキには、400年を超える歴史を有する高岡銅器で作られた「りん鐘」と世界で最も美しい湾クラブのモニユメントが設置されています。

14 国泰寺

山の静寂に包まれた国泰寺は、七百年前に開山した臨済宗国泰寺派の大本山であり、座禅の修行道場として知られています。

明治の初め、全国に広がった廃仏毀釈の嵐は国泰寺にも及び、荒れ寺となっていました。窮状を直に見た山岡鉄舟は、再建を願って自らの揮毫(書)で広く浄財を求め、寺は立派に復興しました。

鉄舟は暮末には、剣・禅・書の達人として知られ、後に十年にわたり明治天皇の教育係として仕え、生涯を日本文化の発揚に尽くした人です。本堂には、鉄舟の偉業をしのぶ位牌と直筆の屏風が置かれています。

天皇殿や三重の塔、日本一の大きさという庭園石は見ごたえがあります。六月の開山忌は、虚無僧の尺八と読経の大合奏が山々にこだまします。

名物の竹の子料理の旬の時期は、山門前の料理店に多くの人が訪れます。

【国泰寺】 ☎0766-44-0610
【観覧】 無料 見学自由